



リレーエッセイ

ハードルを越えて

13



しもどうその
下堂 蘭

さどみ
里美さん

●下堂 蘭 里美さん

NPO法人デフNet.かごしま(鹿児島市草牟田)の学童保育指導員。陸上クラブチームSCC所属。2008年9月にトルコで開催された第1回世界ろう者陸上競技選手権大会走り幅跳び日本代表。鹿児島市在住、27歳。

9月23日から28日、世界で唯一アジアとヨーロッパの2つの州をまたがる国・トルコ第3の都市イズミールで開催された第1回世界ろう者陸上競技選手権大会に日本代表として出場した。20日、関西国際空港からイスタンブールまで12時間、イスタンブールからイズミールまで1時間、計13時間のフライトで疲れてしまったが、イズミールに着いた時、吸い込まれるような空とエーゲ海が待っており、疲れがどこかに吹き飛んでいた。

大会開催まで2日間、調整練習をし、少しだけ時間があつたので、街を歩いた。トルコ人は、日本人にとっても友好的に接してくれるので、握手を求められることが多かった。

開会式に、32カ国の選手が集まり、友好モードで一緒に写真を撮ったり、国際手話で話したりした。それが翌日、地元の新聞のスポーツ面で大きく掲載されていた。日本では、福祉面で掲載されることが多いので驚いた。

2日目の女子走り幅跳び予選の時、日本での大会と違う進行に戸惑ったが、私らしく跳ぶように集中した。結果は、記録なしに終わってしまったので、大変悔しい思いをした。

その後、日本女子主将として、他の選手の応援やサポートをしながら、他の国の選手や役員と話す機会があった。特にヨーロッパ各国の役員は、ろう者並に手話をこなすので、聴者だと知って驚いた。「障害者」だから接しているのではなく、「人間」として尊重し接していたのが印象深かった。

今大会出場を通して、新たな目標ができた。それは、5年後のアテネデフリンピックに出ること。更に練習を重ね、記録を向上するよう、私なりに一生懸命頑張りたい。また世界に羽ばたけるように...



競技中の下堂蘭さん。

「POSITIF」

<http://positif.jugem.jp/>

下堂蘭さんのブログ。勤めているデフキッズでの仕事の様子や、陸上のこと、今回の大会の感想なども記事で紹介されています。



結団式の様子。日本代表として27名の選手が出場。下堂蘭さんは、日本女子主将をつとめた。



世界各国から集まった選手とも交流ができた。



鹿児島県からの おしらせ



「鹿児島県福祉のまちづくり条例施行規則」 一部改正のおしらせ

鹿児島県では、平成11年3月に「鹿児島県福祉のまちづくり条例」を制定し、高齢の方や障害のある方など、誰もが建物や道路、公園などを安心して快適に利用することができる「福祉のまちづくり」を進めています。

今回の改正では、平成18年12月に施行されたバリアフリー新法に対応するため、整備基準等の見直しを行いました。(平成20年7月1日公布)

「福祉のまちづくり」を推進するためには、県、市町村、事業者、県民の皆さんが、それぞれの役割を認識し、一体となって取り組んでいくことが必要ですので、ご理解とご協力をお願いします。



改正の概要

1. 建築物

・移動等円滑化経路(建物内の移動経路、エレベーター等)、便所及び案内設備などの整備基準等を改正

視覚障害者等に配慮した施設案内設備の設置、オストメイト対応の洗浄設備の設置及び乳幼児連れに配慮したトイレの一部施設への設置など

2. 公共交通機関の施設

・建築物と同様の整備基準等改正及び乗車券販売所等、改札口の整備基準等を改正

3. 道路

・横断こう配率の改正

4. 公園等

・便所及び案内設備の整備基準等を改正

施行期日 平成21年1月1日

詳細は県ホームページをご覧ください。



VOL.16 平成20年11月30日発行

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558

[E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/index.html>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

「SPコード」について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を「SPコード」(音声コード)といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードのなかに、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。

